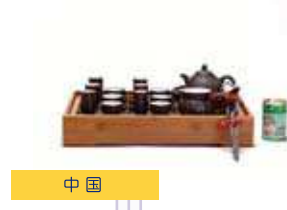




世界の菓子型



世界の茶器



あじっばは、当館の展示テーマ「日本とアジアの文化交流の歴史」を親子で体験できる展示室です（もちろん大人の方も歓迎です）。

あじっばに入ると、16世紀より日本と交流の深かった国々の屋台が所狭しと並んでいます。屋台にはこどもにとって日常と結びつけやすいテーマで玩具から伝統的な芸能、工芸、食文化にまつわる資料を展示しています。ここではどんな資料も手にとって触って体験することができます。今回は食文化の中でも菓子型と茶器の資料を各国で比較してみました。

オランダ、韓国、日本の菓子型を比較してみると、似ているようで工夫されている点があるのが分かります。韓国の菓子型はトックサルといいます。うるち米でできたお餅に型をおします。オランダのものも生地の上で転がしながら模様をつけます。焼き菓子用です。日本のものは落雁を作るときに用います。あじっばで粘土を使って文様が浮かび出るのを楽しんでみてください。

茶器はお菓子と切っても切れない関係です。お茶の作法が茶器にも現れています。触ってみると焼物も同様ではないことが感じられます。とくにインドネシアのイスラムコーヒーセットは煌びやかです。イスラム教文化が窺えます。

各国の風土のなかで生まれた道具に触れながら、おいしい時間をのぞいてみませんか？

九州国立博物館 あじっば担当 吉田公子

1 揚げ菓子 揚げ菓子 揚げ菓子 揚げ菓子

2 カステラ かすてら カステラ かすてら

3 カストース かすてら かつら

4 一〇香 いっこう香

外来の菓子

*菓子名表記 製造・提供 起源 所在地 菓子伝来の由来や、原料、製造法を解説

文化交流展示 海の道、アジアの路

で味わう



長崎土産 ながさきみやげ [江戸時代・九州国立博物館所蔵]

文化八年来朝朝鮮信使図 ぶんかはちねんらいへいちょうせんしんしず [江戸時代・東京国立博物館所蔵]

「食」を眼で味わう

今が旬、九博は秋の逸品でおもてなし



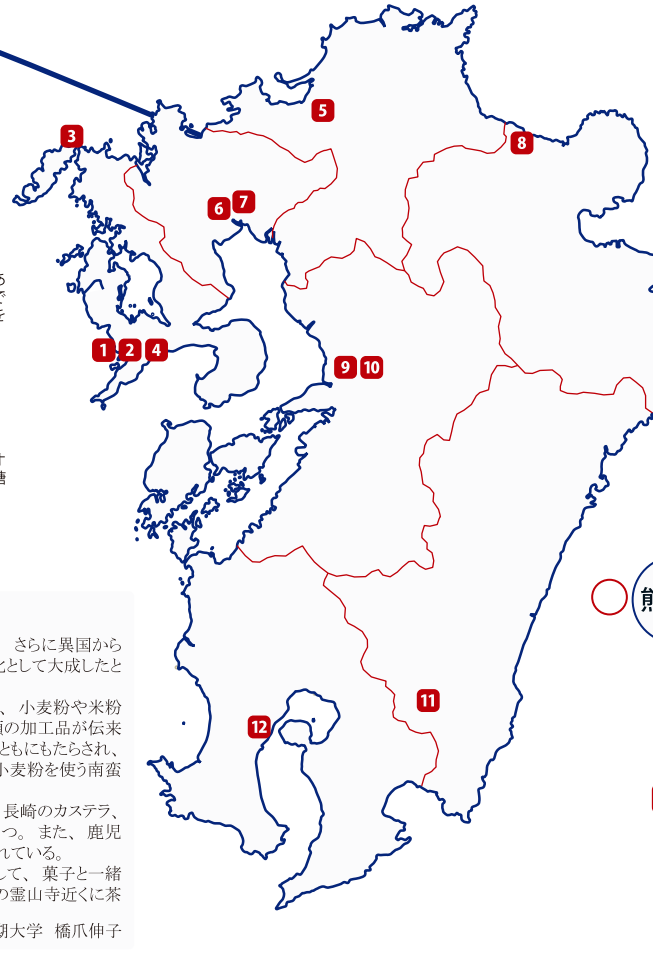
神仙人物戯画図押絵貼屏風 しんせんじんぶつづきがすおしえりばりょうぶ [江戸時代・個人所蔵]



銅鳥松竹梅瓶子 なべしましやうちくばいへいし [江戸時代・個人所蔵]



積炭器 餅 せきてんき、しゃく [江戸時代・東京国立博物館所蔵]



福岡 5 鶏卵素麺 けいらんそうめん

佐賀 6 小城羊羹 おぎようかん

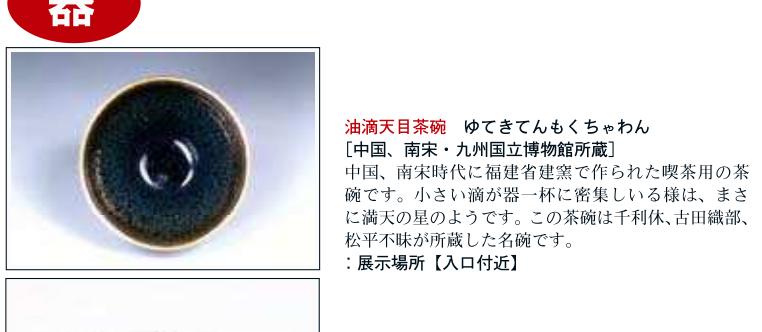
丸房露 まるぼうろ

Column: コラム

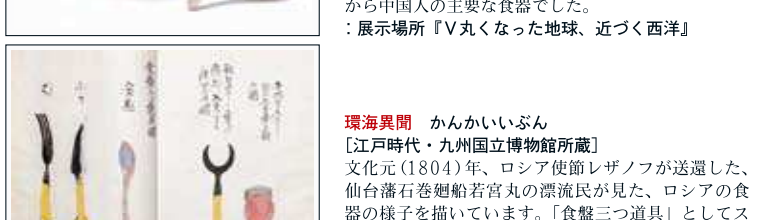
日本の菓子は、果物や木の実等の食品と、米や穀物を加工した餅や団子を原型とし、さらに異国から伝来した様々な菓子（外来菓子）文化の影響を受けて、17世紀後半、独自の菓子文化として成立したとされている。



大碗と散蓮華 おおわんとちりれんげ [江戸時代・長崎市教育委員会所蔵]



環海異聞 かんかいいぶん [江戸時代・九州国立博物館所蔵]



炭化米と飯 たんかまいとこしき [弥生時代・九州歴史資料館、福岡県教育委員会所蔵]

高麗菓子 これがし

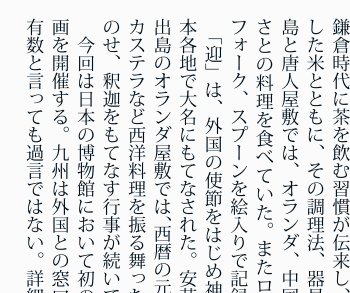
朝鮮餅 ちょうせんあめ

加勢以多 かせいた

高麗餅 これもち

文化交流展示 海の道、アジアの路

で味わう



油滴天目茶碗 ゆてきてんもくちやわん [中国、南宋・九州国立博物館所蔵]

大碗と散蓮華 おおわんとちりれんげ [江戸時代・長崎市教育委員会所蔵]

環海異聞 かんかいいぶん [江戸時代・九州国立博物館所蔵]

炭化米と飯 たんかまいとこしき [弥生時代・九州歴史資料館、福岡県教育委員会所蔵]

高麗菓子 これがし

朝鮮餅 ちょうせんあめ

加勢以多 かせいた

高麗餅 これもち

「異国の美味、日本へ」日本と世界の食文化交流

九州国立博物館のテーマ「日本文化の形成をアジア史的観点からとらえる」今回は食文化交流の資料を展示する。日本は古くから、主役である米をはじめとして、蕎麦や茶葉などの食糧、料理や菓子にいたるまで様々な食文化に関するものが「異国」から渡来した。いつの時代でも遠い異国の美味なるものはあこがれており、その中のいくつかは日本文化の中に受け込まれた。文化交流展示では「酒」器「迎」の三つのテーマを紹介する。

大碗と散蓮華 おおわんとちりれんげ [江戸時代・長崎市教育委員会所蔵]

環海異聞 かんかいいぶん [江戸時代・九州国立博物館所蔵]

炭化米と飯 たんかまいとこしき [弥生時代・九州歴史資料館、福岡県教育委員会所蔵]

高麗菓子 これがし

朝鮮餅 ちょうせんあめ

加勢以多 かせいた

高麗餅 これもち